

「山梨学院高校サッカー部」

再構築。
そして、
日本一へ！



山梨県大会2年ぶりの優勝！

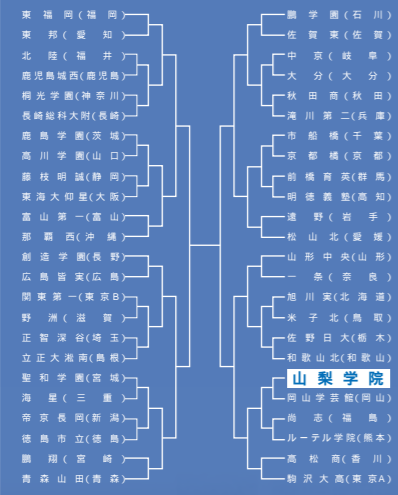
「最後のチャンス」と挑んだ全国高校サッカー選手権大会県予選。山梨学院高校サッカー部は、11月12日の決勝を1-0で勝利し、2年ぶりに全国大会出場への切符を手にした。同校は2010年に全国制覇を成し遂げた強豪校。選手がひたむきに練習するグラウンドを訪れ、主将と監督に話をきいた。



小手先の技術よりも
気持ちとチームワーク

あと一歩が及ばず、試合終了のホイッスルと同時にグラウンドに崩れ落ちた2015年冬の選手権予選。指揮官が変わり年度が変わり、チームは新体制に移行した。その後、県高校総体・インターハイ予選とも優勝に届かず、山梨学院高校サッカー部は全国の舞台からしばらく遠のいていた。
「もはや自分たちは王者ではありませんでしたから。挑戦するのみ！プレッシャーよりもチャレンジヤーとしての意識の方が強かったです」と、話すのは小林友也主将。ラストチャンス、と迎えた全国高校サッカー選手権大会県予選。姿勢もブレイクスタイルも新たにチームを再構築し、挑戦者の気持ちで目の前のライバルたちがむしや

第95回 全国高等学校サッカー選手権大会



岡山県代表・岡山学芸館高校との対戦が決まり、初戦突破に向けて士気を高め、練習に取り組む選手たち



安部一雄監督

のかもしれないと感じました」とチームの第一印象を振り返る安部監督。そこでまず取り組んだのが走力の強化。とにかく走る、ハードワークだ。『激しく強く』を実践するために、とにかくハードワーク。せっかく近くに山がある環境なので、毎日走る。敗戦の後も走る。走ることでメンタルも鍛え直すことができます。選手たちは随分我慢強くなったと思います。
ピッチに立つ選手たちが、試合中どんな場面でも自分の気持ちをきちんとコントロールできるようにすることは勝ち上がるために必要なこと。そこで4月からは心を整えるためのメンタルトレーニングを練習に取り入れた。そのトレーニングは、ボールに触れる前に行われる。グラウンドに流れる大音量の音楽に合わせてストレッチをしたり、声を出したり。リラックスしたムードからテンションを上げてボールに向かうという心の流れを作り出すためのトレーニングだという。
ハードワークとそれを含めたメンタル面の強化は、試合中、相手のリズムになつた時に自滅しなくなったことや、後半の体力が激しくなってきた時にも走り負けをしなくなったことなどに現れるようになった。問答無用で走りこんだ時間と春・夏の悔しさすべてが糧。今大会で山梨県代表の座を奪取したことは、同校復活ののろし。チャレンジヤーとして貪欲に選手たち全員が勝ちにこだわった成果だ。

YAMANASHI GAKUIN HIGH SCHOOL FOOTBALL CLUB



小林友也主将

らに向かうと、悲願の選手権出場切符を手にした。
山梨学院高校サッカー部は毎年およそ100名の部員数を誇る大所帯。高いコミュニケーション能力と、バランス感覚を備えた小林主将は、チームの士気を落とさないために、常に周囲に気を配っていた。今年のチームの良さを尋ねると「仲がいいところ」と即答。技術よりも気持ち、チームの雰囲気、良さが今年のチームのカラーだという。
「今年は突出して巧い選手がいるわけではなく、個々の能力でいえば昨年や一昨年のほうがずっと上です。とにかく真面目に教えていただいたことをやるのがいい選手が多いこと、選手同士の仲がいいことが今年の特徴。持味は一体感あるチーム力。3年生を中心によくまとまっていると思います。」
と小林主将は話す。

ハードワークでメンタル強化
チャレンジヤーとして貪欲に

チームは今年3月に安部一雄監督を迎え、新体制に変わった。春から秋までにかけて、修正と挑戦を繰り返して、選手権予選も新戦術で臨んだ。
「個々に良いところはたくさんあるのに、出し切れていない。1つ1つのプレーにいまひとつ必死さが足りていない」

意志あるところに道はひらける
心で身体をつくっていく

「今年内部での争いも熾烈です。1年生にも2年生にもチャンスがあつてつき上げてくる。僕はチームが内部から燃えている今のムードがとても好きです。選手権まであと少し。今からチームとしての完成度をどれだけ高めていくのか。細かいところを突き詰めていく時間だと思えます」と小林主将。「個々の役割をもう一度明確にし、きっちり再確認していく」という安部監督との意識が自然に揃っている。
「自分の心で自分の身体をつくる」とかつて同校を選手権優勝に導いた横森巧総監督。技術や戦術も大切だが、ここからは一人ひとりの「意志」の強さが試される。

3年生にとっては1年生の時に一度「連れていってもらった舞台。練習はいつでも手を抜かずに重ねてきた。あとは、コンディションを整えて挑んでいくだけだ。」

「山梨県代表として誇りを持って全国の舞台で戦い、ユニフォームにももう一つ全国制覇の星をつけたいと思います。山梨は近所の人など、地域のつながりが濃く、あたたかい人が多い地域。山梨にもう一度優勝旗を持ち帰り、地域を盛り上げたいと思います。」(小林主将)
初戦は12月31日。全国大会初出場の岡山学芸館高校と対戦する。切望した全国の舞台。山梨学院高校サッカー部の活躍を願う。



横森巧総監督

